松浦議員（自民会）

平成 28 年２月 23 日
知 事 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）県立大学の見直しと併せたグローバルリーダー育成校設置の検討について

グローバルリーダー育成校は，どの場所に設置をするかも決めずに，設計費の予算案が提案されている。

検討することは良いことだが，土地は，購入や寄付を受ける方法のほか，県有地を活用する方法もある。建物についても，廃校等になった既存の校舎を活用する方法がある。既存施設を候補に考えれば，建物の設計費についても，大幅に少なくて済むはずであり，まずは，こうした基本的なことを詰めた上で，必要費用を積算し，予算を提案すべきではないかと考える。

県立大学では，今，まさに大学改革を目指した新たな取組の中で，グローバル化に対応することをコンセプトとした，高度人材を継続的に輩出する教育環境を構築する新たな学部等の設置を検討されている。

高度人材の育成についても，グローバル化に対応することがコンセプトとされており，高校と連携して，継続的にイノベーションを創造できる人材や，課題解決に向けて実行できる人材を輩出する方向性を出されている。

県立大学の３キャンパスのいずれかを活用して中・高・大学まで一貫した教育を行うことで，より高度な人材育成を目指せることは明らかである。

県立大学と併せて設置すれば，校舎も既存のものを活用でき，完成までの期間を短縮できる上，校長は大学まで兼任し，大学の教員が，中・高校の生徒に教えることも可能になるなど，大学，さらには新しい中・高等学校の大幅な効率化を図ることができる。

県立広島大学は，各キャンパスに地域連携センターを置いており，地域の支援という意味でも申し分なく，教育委員会が先日決定した，グローバルリーダー育成校の基本構想の中にある，設置場所の基準となる地域の支援，質の高い資源，豊かな学習環境と敷地，少ないコストの全てを満たすものと考える。

そこで，グローバルリーダー育成校を設置するのであれば，県立大学の見直しと併せた検討を最優先ですべきと考えるが，このような検討を行う考えはあるのか，また，検討しないのであれば，なぜしないのか，併せて知事の所見を伺う。

（答）

グローバルリーダー育成校は，世界各国から生徒を受け入れた上で，世界の新たなモデルとなるような教育の創造を目指す学校であり，生徒の進路についても，多様な進学先が考えられることから，一つの特定の大学との強い連携・接続以上に，国内外の様々な大学や国際機関なども含め，多様性溢れるネットワークを構築していくことがより重要であると考えております。

このため，県立広島大学と併設することは　想定しておりませんが，一方で，現在検討しております高等教育機能の強化とグローバルリーダー育成校とは，教育の方向性など，共通する点もあることから，今後，可能な部分につきましては，議員御指摘のように，両者の連携を図る必要があると考えております。

いずれにいたしましても，グローバルリーダー育成校の設置場所は，今後，教育委員会におきまして丁寧な調査・検討が行われた上で，決定されるものと理解しております。